

# 先祖代々からのおともだち—ニキビダニ *Demodex folliculorum*—

高田 歩

先日、ふと自分の顔にニキビダニがいるだろうか?と思い、調べてみました。…というのも、ある日、飲み友達のTさんが、「俺、顔にニキビダニがいるんだぜ。前に調べたんだ。」と激白してきたことがそもそものきっかけです。

ニキビダニとは、顔ダニ、まつ毛ダニ、毛包虫などとも呼ばれ、

分類としては、ダニ目ケダニ亜目(前気門亜目)ニキビダニ科に属しています。ニキビダニは1842年にサイモンさんによってドイツの医学雑誌「Archiv für Anatomie, Physiologie und Wissenschaftliche Medicin.」に新種記載されました(図1)。ちなみに、インターネットで検索すると、一部の方にとってはトラウマものの画像が見られます。

ニキビダニは、我々ヒトの顔面などに生涯寄生していて、1つの毛穴に2~6匹すんでいるといわれています。はっきりとはわかっていませんが、皮脂を食べて生きています。(※ほとんど無害です。)そして、宿主であるヒトが別のヒトと密に接触することで、ニキビダニが直接伝播し、交流しほとんどのヒトにニキビダニがすんでいると考えられています。

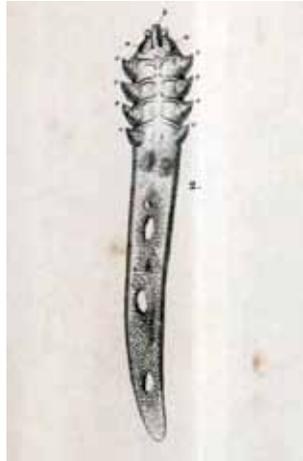


図1. ニキビダニの原記載図。(一部抜粋) 腹側から見た様子

これはつまり、ヒトの繁殖が、すなわちニキビダニの繁殖をも意味することになります。今回は特に紹介しませんが、このことに目をつけて、ニキビダニのDNAの解析を通してヒトのルーツをたどるという研究がなされています。

さて、私の顔にいるニキビダニの話に戻ります。鼻の横の皮脂をしぼり出し、スライドグラスに乗せて顕微鏡で観察すると、脂の中で短い脚をモコモコと動かしているニキビダニが1匹見つかりました(図2)。大きさは全長約220 $\mu\text{m}$ (0.22mm)で、形はイモムシのように細長く、体の前部に8本の脚があります。この個体は大きさからみて、まだ若虫だと考えています。

一方、Tさんから頂いたニキビダニ(図3)はより細長く、全長約270 $\mu\text{m}$ でした。プレパラートに封入したら、体勢が傾いてしまったのでオスカメスカの判断ができませんでした。ただ、日本ダニ類図鑑によると、全長はオスが280 $\mu\text{m}$ 内外で、メスが290 $\mu\text{m}$ 内外です。また、生殖口の位置はオスでは背面にあり、メスでは腹面の第4脚後方にあるという違いがあります。いずれ追加採取をして、きれいな標本を作って観察したいと思います。

これでヒトにはニキビダニが寄生していることが(実体験をもって)理解できましたが、実は他の動物からも様々なニキビダニが見つかっています。イヌにはイヌニキビダニ、ネコにはネコニキビダニというようにウシやブタ、ヒツジなどにもそれぞれのニキビダニが寄生しているようです。動物の進化の道筋を辿るうえで、それぞれのダニの違いに目をつけてみると面白い発見がありそうです。



図3. Tさんのニキビダニ

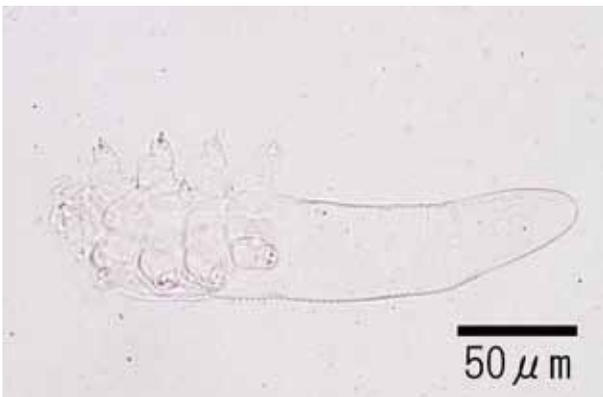


図2. 私のニキビダニ